

2023年12月29日発行

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

神奈川イグレンニュース〈第237号〉

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集：事務局長 愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町580 神奈川中小企業センタービル7F

TEL/FAX045-228-7331 <http://www.kanagawa-igren.com>

（目 次）

- 2023年11月30日（木） 五光発條（株）の見学会報告 （1頁）
まんでんプロジェクト事務局
- 「木質資源の有効利用について」～SDGsへのひとつのアプローチ～（2頁）
株式会社 Kinoiro（キノイロ）
代表取締役 福本ミカ
第65回海老名サロン報告概要
- 第101回西湘サロン開催案内 （4頁）
- 第90回 アジアビジネス探索セミナーのご案内 （5頁）

その年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」、1位は「税」、2位は「暑」、3位は「戦」が選ばれました。どれも明るい現実をイメージし難い漢字です。
2023年が、内外共に正常さよりも異常さが顕現した一年であったということの反映でしょうか。2024年を正常への道筋をつくる年に！

皆様 良いお年をお迎えください

2023年11月30日(木) 五光発條(株)の見学会報告

まんでんプロジェクト事務局

11月30日(木)に小形のバネの開発・製造・販売を行っている五光発條(株)の見学会を開催しました。五光発條(株)は1971年10月に創業し1972年8月に五光発條(株)として会社を設立しました。現在、タイ、ベトナム、インドネシアに工場があります。製造しているばねは、線形2mm以下の精密な小形のばねが主で、デジタルカメラや携帯ヒンジ、スイッチ等に幅広く使用されている圧縮荷重を受ける押しばね、デジタルカメラ、事務用機器等に使用され、両端にフックが有り引張荷重を受ける引きばね、センサー部分や扉の開閉、カメラ等に使用され、ねじりモーメントを受けるねじりばね、微小スイッチ等に使用され、ねじり荷重を受け導電機能も担うなどの特殊な形状のばねを製造しています。

(瀧澤会長挨拶)



(村井秀敏会長)



見学会では瀧澤会長から見学を受諾されたお礼の挨拶の後、代表取締役会長の村井秀敏氏から会社の創立から現在の状況について紹介がありました。紹介の中で、ある個所にナイフを刺すと黒ひげの頭がばねで飛び出す「黒ひげ危機一髪」という玩に、ばね屋が挑戦したらどのくらいの高さまで飛ぶことが出来るのか、という取り組みがTBSテ

レ び
た。
の た
が プ
の 頭
すが、

放映され、そのビデオを見まし
市販されている玩具は安全
ために、ばねやばねを保持する筒
ラスチックで出来ており黒ひげ
が約3~5cm ぐらい飛び出しま
挑戦したばね

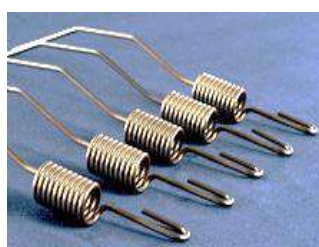


は二重構造にしたピアノ線の押しばねで、筒も鋼製で作った頑丈な構造となっていました。テレビ撮影の時には近隣の方々も見守る中、10m 近くの高さまで飛んだそうです。我々の見学でも実際に見せていただきましたが、飛び出した時には思わずオ〜と声が出たほどでした。その後、工場の見学に移り、生き物のようにくるくる回りながら製作される各種のばねの製造過程や検査、計数・納品の箱詰工程などの説明を受け、納品までの一連の流れを知ることが出来ました。ばねの中には他社でも作ることが難しい線形が0.1mmで吹けば飛ぶような微小なばねもあり、技術の高さが伺えました。ばねは身近な部品で近隣の小学3年生の工場見学の授業にはよく訪れて来られるようで、小学生が書いた絵や作文が飾られていました。

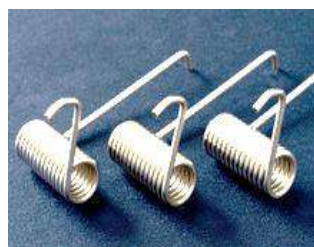
(押しばね)



(引きばね)



(ねじりばね)



(特殊ばね)



「木質資源の有効利用について」

～SDGs へのひとつのアプローチ～

株式会社 Kinoiro(キノイロ)

代表取締役 福本ミカ

祖父の代から続く木工所で木に囲まれる環境で育ち、自身の生活史の中に「木」とかかわる意識を醸成してきました。2016年に起業し、木や純銀等の材料を活用したアクセサリーやクラフト製品を手掛けながら、ものづくりと環境問題を結びつける環境クラフトのワークショップの運営にも取り組み、今年株式会社 Kinoiro を設立しました。

1. Kinoiro の事業

- ① 木材資源の有効活用—廃棄される木製家具の活用・間伐材の活用・銘木椀の端材の活用
 - SDG s 目標 1 4 「気候変動に具体的対策を」：廃棄木材の減少 → 燃やさないことによる炭素の固定化、都市森林の維持
 - SDG s 目標 1 5 「陸の豊かさを守ろう」：間伐材の価値が上がり森林の持続可能な管理の促進
：端材利用による木材資源の無駄の減少
- ② サステナブルなプロダクト開発
- ③ サステナブルワークショップ（環境教育）の運営
 - SDG s 目標 4 「質の高い教育をみんなに」：環境教育ワークショップ

2. SDG s について

- ① サステナブル=持続可能な未来の構築 → 3R+U
 - Reduce：発生抑制 Reuse：再使用 Recycle：再生利用 Upcycle：創造的再利用
- ② SDG s ウオッシュ（実態が伴わない SDG s 活動）と指摘されない取り組みの重視
- ③ Upcycle の事例
 - ・ホテル（東急ステイ渋谷）のリニューアルに伴う椅子の Upcycle
200 脚の椅子 3,000 個の箸置き他
 - ・保育士とコラボしておもちゃを開発
 - ・木の香りによる癒し袋 → おがくずの活用

【Upcycle 事例の作品群】



3. kinoiro のめざすもの

- ・企業と連携し不要になった木製家具からアップサイクルした製品を通して「ものの一生」のストーリーを伝える。
- ・端材や間伐材から通る製品を通して役目を終えた物でも用途や視線を変えればまだ活かせることを伝える。
- ・五感を刺激しながら木と向き合うことで木の面白さや創る楽しさを伝える。
- ・木材の使用が環境破壊につながるという誤った認識を、間伐材を利用することで森林が健全に成長し、生態系の維持や土砂災害の危険性を下げ、森が育んだ水が海も豊かにするという自然環境の営みを広く伝えていく。
- ・ものづくりの楽しさを伝え、ものづくりの職人さんを目指す人を増やす！

4. 質疑・意見交流概要

- ・木工製品を加工製作する道具・機械はどんなものか？
(旋盤や研削盤等の工作機械で対象が金属ではなく木材というだけです)
- ・ものづくりの人材不足は木工職人に限ったことではないので、業界任せにしない国等の積極的な取り組みが必要である。
- ・自然環境保全と林業の振興の点で日本とドイツを比較すると、林業従事者は日本4.5万人に対しドイツは120万人以上で自動車産業より多いし、製材自給率は100%。森林地形や植生等単純に比較できないが日本はもっと林業振興に力を入れるべき。
- ・仕事の取り組みの中で環境問題を軸に据えていこうというサステナブルな姿勢を強く感じた。今後の事業展開に期待したい。

(構成・文責 愛)



地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」

第 101 回西湘サロン開催のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

【日時】2024年1月15日（月）午後6時30分～8時00分（開場6時）

【場所】おだわら市民交流センターUMECO（TEL:0465-24-6611）

JR 小田原駅東口より徒歩約2分です。

【会費】参加費 500円（当日）

1. 話題 「健康経営」

健康経営エキスパートアドバイザー 中小企業診断士 幸田 年雄 氏

「健康経営」とは、従業員の健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康増進を図り、企業の生産性向上につなげることを目的とする経営手法をいいます。

日本の人口減少は、ますます企業に人材確保を難しくしています。離職者対策や高年齢従業員の健康注視などの企業活動が重視されてきています。

従業員の健康と幸福を大切に考える健康経営活動について説明します。

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。3人以上で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込

E-mail yoshiike@maple.ocn.ne.jp

吉池

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()
メールアドレス			

第90回 アジアビジネス探索セミナーのご案内

日 時 2024年1月19日(金) 18:00-20:00

場 所 中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル6F

(八重洲地下街18番出口直通) 03(5542)1989

ビジネストラנסファー会議室 (東京駅八重洲北口徒歩1分)

1 緊急レポート

日本の外国労働者を巡る環境変化と政策の動向について

(株)TSBケアアカデミー 社長 中澤 司

2 激動期のアジア経済展望

— 急成長するアジア企業のなかで日本企業の新たな位置づけ —

NPO法人 アジアアパレルものづくりネットワーク 代表理事

(株)小島衣料 オーナー 小島 正憲

3 2023年賀詞交歓会及び「アジアビジネス探索セミナー」第90回記念謝恩懇親会

恒例のお楽しみ抽選会をおこないながら参加者の皆さんの自己紹介を行います。会社や自宅で余っているお酒や商品を各自お持ちよりいただければ幸いです。

4 会費 4,000円

(当日、受付でお支払いください。)

※ お申し込み/お問い合わせ先

氏名とさしつかえなければ、所属先、部署・役職、ご連絡先を明記の上、

メールあるいはFAXで事務局までお申込ください。事前の申込をお願いいたします。

※ ◇◇3/26(金)18:00~ 「アジアビジネス探索セミナー」参加申込書

氏名:

会社名:

部署/役職:

TEL: e-mail:

※ 送付先・ アジアビジネス探索セミナー事務局

090-4124-2496

FAX03(3659)7077

e-mail. i-daruma@igarashireport.com